

令和8年度都立蔵前工科高校(定時制)における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	社会人として必要とされる国語の基礎の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」「読むこと」の基礎・基本を図るため、漢字の小テストを毎回授業開始5分実施。 ・「話すこと」では下記の場面を設定する。A新聞等のニュースについて話す。B情報を整理しながら話し合う。C発想を広げる方法を使って話し合う。D資料を活用して発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の文章中で用いられた語句の意味を調べ、短文を作成する。 ・単元の最後に自身で問を立てて探求し、成果をまとめて発表する。 ・他者の意見や主張を受け止め、吟味したり、新たな問いを立てたりする。
地理歴史	広い視野に立って国際社会を主体的に生きる能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を基本とし、書くことで授業のポイントを認識できるようにする。 ・最新の時事問題等を資料に、諸課題について考え、どう解決すればよいのかを考えさせる授業。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えた内容を文章にまとめ、発表する。 ・自分の意見と他の意見を客観的に考察し、幅広い認識を養う。
数学	基礎計算力実力向上・数学的なものの見方や考え方を身に付けられる数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎計算ドリルを50題、毎時間実施する。 ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「科学的な見方」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活での体験を通して、事物・事象を科学的に分析・解明する態度を養うことを目指した指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に、自ら主体的に関わり科学的に探求しようとする態度の涵養を目指した指導
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 ・運動に親しむ ・健康の保持増進 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回トレーニングと柔軟体操を実施 ・各種目の運動の特性を理解し、課題を発見し、協力して各種目を実施。 ・各項目において、健康や安全の内容から自他や社会の課題を発見し、解決方向を考える授業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって、豊かなスポーツライフの実現のために「する、みる、支える、知る」の視点からも自己や仲間も課題等も考えながら実施する。 ・保健において、それぞれの課題を発見し、生涯を通じて心身の健康の保持増進するための能力を身につける。
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回のスピーキングテストの実施 ・ペアワークによる対話練習の実施 ・授業での定期的なリピーター練習の実施 ・ALTと連携した英語によるやり取りの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いて、スポーツ、文化、時事問題等について英語でやり取りする場面を取り入れた授業の実践 ・日常生活に関わるショートエッセイの作成と発表
工業 (建築工学)	一人一人の特性に合わせた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・選択科目の設置 ・資格取得と検定の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・二年時より「建築」又は「設備工業」を選択して、専門性を高める学習指導の実施 ・一人2種類以上の資格取得を目指す指導を実施